

令和3年第1回 北海道議会定例会〔一般質問〕開催状況

開催年月日 令和3年3月12日（金）

質問者 日本共産党 宮川 潤 議員

答弁者 総務部長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 知事の政治姿勢について</p> <p>(一) 2021年度予算等について</p> <p>2 収支見通しの乖離について</p> <p>「予算の概要」で、2021年度は、370億円の収支不足としていますが、2012年度時点での見通しでは、2021年度に80億円の黒字を見込んでいました。一転して370億の赤字に転落した収支悪化の原因、見通しが甘かった理由を明らかにしてください。</p> <p>今後十分な分析と検証を行ない、より正確で信頼できる収支見通しを改めて道民に示すべきと考えますが、いかがですか。</p>	<p>(総務部長兼北方領土対策本部長)</p> <p>収支見通しについてでございますが、道財政の中期展望は、毎年度の当初予算編成にあわせてローリングを行い、直近の状況を反映してお示ししているところでありますが、平成28年度当初予算の時点から令和3年度は、収支不足額が生じる見通しとなっているところでございます。</p> <p>また、この度お示しをした令和3年度の収支不足の見込額と、平成24年度当初予算時点での見込額との差は、近年の大規模災害を踏まえた施設の更新、維持管理、耐震改修等への対応による投資的経費の増加や、燃料費や労務単価の上昇といった維持管理費の増加などに加えまして、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、手取りベースの道税収入等が見込みを下回っていることなどにより、生じているところでございます。</p> <p>道財政は、国の施策などの影響を大きく受ける構造にありますが、今後の収支見通しの推計にあたっては、その時点で見込みうる変動要素を可能な限り反映するとともに、そうした試算の前提条件も明らかにしながら、対応してまいります。</p>